様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物 人参（秋冬どり）栽培暦（令和8年度）

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

１．土づくり

・完熟堆肥、または緑肥を施用し、土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を行う。

２．施肥　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量7．5kg／10a以下**

	肥料名	施肥量
基肥	①スーパー人参ブリケット（6-8-8　有機態窒素　3.6 ）	200kg／１０a以下
	②エコレット866（8－6－6　有機態窒素4.1）	180kg／１０a以下
	③ちばみどり有機888（8－8－8　有機態窒素 1.2）	110kg／１０a以下
	苦土石灰（アルカリ分55%）	80kg／１０a以下
※必要に応じて施用	苦土重焼燐（0-35-0）	80kg／１０a以下
	マルチサポート1号（総合微量要素）	60kg／１０a以下
	※土壌分析により施肥量を加減する。	

３．防除 **化学合成農薬　8成分回数まで**

（ｚボルドー・スピノエース顆粒水和剤・ポリオキシンAL水和剤・ゼンターリ顆粒水和剤・ジーファイン水和剤・カスミンボルドーは化学合成農薬に含めな

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈　倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施
7月上旬	ロータリー	（センチュウ・ネキリムシ）	①ネマトリンエース粒剤	播種前15～20kg/10a	１回	ネコブセンチュウ	ネコブセンチュウの多い圃場は作付けを避ける
中旬	施肥						
下旬							
8月上旬	は種		②フォース粒剤	播種時4kg/10a作条土壌混和	１回	ネキリムシ類	苗床での立枯病が本圃でのすそ枯病の発生源となるので潅水等に注意する
				播種前4～12kg/10a全面土壌混和			
中旬							
下旬							
9月上旬	間引き	（黒葉枯病（鱗翅目害虫））	③ベルクート水和剤	1000倍（収穫14日前迄）	５回	菌核病	ストロビーフロアブル2000～3000倍　（収穫7日前・３回）
				500～1000倍（収穫14日前迄）		黒葉枯病	
			④アファーム乳剤	2000倍（収穫前日迄）	３回	ハモグリバエ類	
中旬	中耕		⑤ロブラール水和剤	1000～1500倍（収穫14日前迄）	４回	黒葉枯病斑点病	※化学合成農薬に含まれない農薬 黒葉枯病防除剤 発生が見られた場合： カスミンボルドー 1000倍（収穫7日前・２回） Zボルドー　500倍 ゼンターリ顆粒水和剤 1000倍　（収穫前日・－） ジーファイン水和剤 うどんこ病750～1000倍 白さび病1000倍 （収穫前日・－） ポリオキシンAL水和剤 500倍　（収穫７日前・５回） スピノエース顆粒水和剤 5000倍　（収穫3日前・3回）
下旬			⑥スタークル顆粒水溶剤	2000倍（収穫7日前迄）	２回	アブラムシ類	
10月上旬			Zボルドー	500倍（収穫前日迄）		黒腐病、軟腐病、斑点細菌病	
中旬	収穫		ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍（収穫前日迄）	－	オオタバコガ	
下旬			カスミンボルドー	1000倍（収穫7日前迄）	２回	黒葉枯病	
11月			ポリオキシンAL水和剤	500倍（収穫7日前迄）	５回	黒葉枯病	
12月			スピノエース顆粒水和剤	5000倍（収穫3日前迄）	３回	ハモグリバエ類	
1月							
2月							
3月							

☆みんなで守ろう生産基準